

発行所  
**石川県保険医協会**  
 〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号  
 尾張町レジデンス2F  
 電話 (076) 222-5373 番  
 FAX (076) 231-5156 番  
 発行人 高松弘明  
 印刷所 ソノダ印刷株式会社  
 購読料 1年間 5,000円(〒共)  
 (\*本紙の購読料は会費に含まれます)

# 石川保険医新聞

●主な記事●

- 2面 新点数置き換え結果
- 3面 胃瘻について(3回シリーズ)
- 4面 点数早見表の正誤表
- 5面 青山彩光苑
- 6面 春の食へ歩き会(かぶらや)

今月の会員数/869人(医科629人・歯科240人)

## 持論

診療報酬が今月改定された。一九九七年九月の健保法「改正」が未曾有の患者負担とすれば、今回の改定は、それによる患者減に加えマイナス改定と、経営にとって大打撃である。

前者の社会保険診療報酬支払基金における一九九七年九月の診療所外来点数は、対前年度月比マイナス五パーセントであった。後者については、薬価が医療費ベースでマイナス二・八パーセント引き下げられ、診療報酬が一・五パーセントの引き

上げであるが、内容は「医療の質の向上」に役立つものにつけ、という政策誘導によるもので、診療所、小規模病院では配下を引き起こすことが懸念される。

想される。その結果、医療機関は一層経営悪化に追い込まれるばかりでなく、患者サービスの低下を引き起こすことが懸念される。

## 財政構造改革法の破綻は明らか

「保険で良い医療」は、診療報酬の引き上げで

分は少ない。つまり、薬価引き下げも含めると、診療所、小規模病院では一・三パーセントを大幅に超えるマイナス改定が予想される。

こうした背景には、財政構造改革法実施初年度としての三千二百億円にのぼる国庫支出削減

## 休業保障制度 募集中心!!

一九九八年度  
五月二十五日×切

詳しくは案内チラシまたは協会までお問い合わせください。

## 2会場での新点数検討会 両会場で660人が参加



開会あいさつに立つ高松会長(左)と6人の講師団

## 新点数運用説明会のお知らせ

- (金沢会場) ●日時：4月26日(日) 午前10時～正午  
●会場：石川県地場産業振興センター 本館大ホール
  - (七尾会場) ●日時：4月26日(日) 午後2時30分～4時30分  
●会場：七尾サンライフプラザ2階 視聴覚室
- ※参加方法などは案内チラシをご確認ください。

三月二十八日(土)、二十九日(日)の両日、それぞれ金沢、七尾を会場に、保険医協会主催の新点数検討会が開かれました。

両会場合わせて過去最高の六百六十人の参加者が集い、保険医協会の講師団が二時間にわたって、今次改定の解説や問題点を明らかにしました。

当日使用されたテキスト「点数表改定のポイント」は、保険医協会会員のために全国のエキスパートが徹夜作業で作成したものです。参加者は、当日配布された詳しい資料と合わせて、講師陣の解説を真剣に聞き入っていました。

四月一日よりこの新点数の運用が始まりましたが、保険医協会では四月二十六日(日)に同じく金沢・七尾両会場にて「新点数運用検討会」を開催します。新点数の運用に伴って起きる様々な疑義についての検討や、今後の改善点、さらにレセプト記載要領などについて詳しく解説します。当日は、この日のために特別編集される「新点数運用Q&A及びレセプトの記載」がテキストに用いられます。

菊地 皓一 先生  
(根上町・歯科)

享年七十五歳・三月十七日逝去

慎んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

石田 直行 先生  
(金沢市・外科)

享年七十三歳・三月六日逝去

慎んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

会員訃報

選抜高校野球が始まると、春が来たなあと実感する。若人の真剣なプレーを楽しみ、感激している。次に桜の開花、そして待望(?)のプロ野球開幕、ここまで来ると春本番である。わが時代の典型的「巨人・大鵬・卵焼き」族である。(実は、柏戸の方が好きであった)。

毎年、巨人軍を心から応援している。去年は悲惨であった。今年はどうであろう? 独断と偏見で検証してみたい。

最新の文献(昨年)から考察するに、昨年の巨人軍の敗北は明らかに開幕ヤクルト戦でのつまづきにある。その結果、Bクラストップという汚名を被った。幸運にも(?)、今年も開幕は対ヤクルト三連戦(ただしビジター)である。何としても勝ち越して勢いに乗らなければ、去年の轍を踏むことになりかねない。負け越そうものなら、それは考えまい。

大物ルーキー高橋が、オープン戦ですばらしい活躍をしてオープン戦新人王を獲得した。本番での活躍、確実。それが既存の選手、就中松井、清原を刺激し、相乗効果をもたらす。新人外ランカーも面白い。投手斎藤、桑田の完全復帰、ヒルマンもめどがたつた。良いことづくめ。優勝間違いなし。秋には美酒に浸っている自分の姿が目に見えよ。

(四月一日現在)

## 医心凡語

選抜高校野球が始まると、春が来たなあと実感する。若人の真剣なプレーを楽しみ、感激している。次に桜の開花、そして待望(?)のプロ野球開幕、ここまで来ると春本番である。わが時代の典型的「巨人・大鵬・卵焼き」族である。(実は、柏戸の方が好きであった)。

毎年、巨人軍を心から応援している。去年は悲惨であった。今年はどうであろう? 独断と偏見で検証してみたい。

最新の文献(昨年)から考察するに、昨年の巨人軍の敗北は明らかに開幕ヤクルト戦でのつまづきにある。その結果、Bクラストップという汚名を被った。幸運にも(?)、今年も開幕は対ヤクルト三連戦(ただしビジター)である。何としても勝ち越して勢いに乗らなければ、去年の轍を踏むことになりかねない。負け越そうものなら、それは考えまい。

大物ルーキー高橋が、オープン戦ですばらしい活躍をしてオープン戦新人王を獲得した。本番での活躍、確実。それが既存の選手、就中松井、清原を刺激し、相乗効果をもたらす。新人外ランカーも面白い。投手斎藤、桑田の完全復帰、ヒルマンもめどがたつた。良いことづくめ。優勝間違いなし。秋には美酒に浸っている自分の姿が目に見えよ。

(四月一日現在)

新点数・新薬価の置き換え結果

不合理点数は正の運動強化を

石川県保険医協会では、毎回の診療報酬、薬価基準改定時旧点数と新点数の置き換え作業を行い、点数改定の影響を会員に知らせている。一九九八年改定でも置き換え作業を行い、新点数検討会の席上、出席会員に改定率と傾向について報告した。検討会の席上では、時間的制約から、十分に検討できなかったところもある。紙上で再度検討してみたい。

三月度理事会点描

相変わらず厳しい医療環境の中で、第二回理事会は開かれた。今後、協会が入手した医療関連情報のうち重要な物をセレクトして、会員へニュース速報として流すことがまず決定された。マスコミ対策の一環として石川テレビに九月改定の後を開業医の立場から、高松会長がインタビュー出演、発言することとなった。またガン検診の補助金が廃止されることに伴い、自治体によって検診が中止となる事態への対策が検討された。知事候補へのアン

第2回理事会 9月改定その後について 高松会長がテレビ出演 (3月3日・12人出席)

ケートの実施を決定。報告事項として、歯科部会が休部状態で、今後、早急に態勢を立て直す必要があると報告あり。次代を開く新入部員の参加を期待する。 学術・保険部からは差

と、検体検査実施料の引き下げが判断料の引き上げに追いつかなくなったことが原因と思われる。対策としては、実日数や処方回数を増やす、検体検査の分割実施などが考えられるが、十年ほど前の療担規則(内服薬は二日分を標準とする)に戻ったようで、診療内容の不自然さが強調され、現実的ではない。次に、国保・老人についてみると、耳鼻科以外の診療科でマイナス改定となっており、社保本人より〇・五〜一・〇%下がりが激しい。老人では一般に社保本人の項で考察した①②が当てはまることから、この結果は予想されるところだ。厚生省の考えた通りの、「老人医療の適正化」に沿ったマイナス改定になっているといえよう。

新点数と新薬価の置き換え結果一覧

(1998年2月診療分)

Table with 13 columns: 区分, 社会保険本人レセプト・外来10枚 (新点数A, 旧点数B, 点数改定率A-B/B, 新薬価C, 旧薬価D, 薬価改定率C-D/D), 国保老人レセプト・外来10枚 (新点数A, 旧点数B, 点数改定率A-B/B, 新薬価C, 旧薬価D, 薬価改定率C-D/D), 備考欄. Rows 1-12 list various medical departments and their respective data.

(石川県保険医協会調査)

(大平 記)

(学術・保険部)

日本機関紙協会  
新年号コンクール

本紙「審査委員特別賞」を受賞。

日本機関紙協会が主催する「新年号コンクール」に今年も応募しました。今年の新年号は全二十二面の過去最高の大作となり、「審査委員特別賞」を受賞しました。  
Bコース(写植新聞) 百八紙の応募中、「最優秀賞」一紙、「優秀賞」三紙、「奨励賞」一紙、「特別賞」五紙、「審査委員特別賞」十紙の順で、以下、「佳作」「激励賞」「努力賞」と続きます。  
「石川保険医新聞」は今年もBコースの中で上位二十位以内という好成績を獲得しました。講評が届けましたので掲載します。  
(事務局 杉野)

『石川保険医新聞』新年号への講評

新年号コンクール審査委員  
日本機関紙印刷所編集相談課

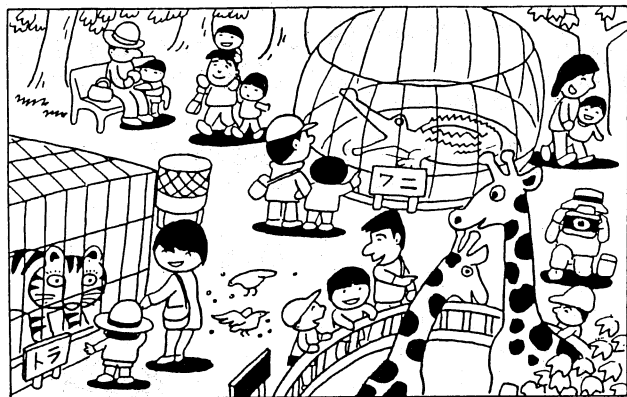
今井 雅夫

二〇ページというボリュームに圧倒されました。取り組まれたみなさんの意欲に敬意を表します。新年号は特別だとはいえ、これだけ盛りだくさんの企画を掲載できたのは、「和気あいあい」の編集会議を定期的に開催してきたまもでしょう。これはぜひとも堅持していただきたい。

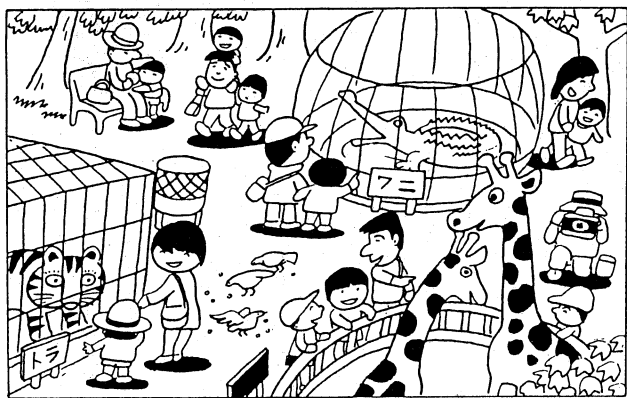
一面は、決してうまい写真ではありませんが(失礼)、テーマを持って自分たちで撮ったのは、おおいに好感が持てます。(注)プロの写真を購入して載せている紙面も結構あります。編集そのものをプロに委託している

ところも。紙の洪水の中で、とにかく読んでもらわなければしょうがない、そのためにはプロの力を借りても、というのが理由です。一方、自らの手でつくってこそ、という意見もあります。どちらが正しい、ということはなく、組織の置かれた状況、財政などを考慮してそれぞれの組織で決めることでしょう。問題は、「新年号だから富士山」のような、固定観念から脱却して、「何を訴えるか」という意識が大切。そういう意味で、貴紙の紙面は好感が持てると言ったわけです。

新春座談会の吉田理事の発言「医療保険は、保険料を払っている患者のためのもの」は、まったく同感。「医療改悪」は許せません。共にがんばりましょう。  
注意点を一つだけ。見出しの表現は正確に。見出し読者(見だししか読まない読者)もいます。二面下の記事の見出しのことです。「非核宣言を採択」なのか「非核宣言してく」という「請願」を採択」なのか。



西山 進  
「くらしの風景」7つのまちがい



(答え4面)

PEGについて (3回シリーズ)

《第1回》

在宅医療を志す医師にとって PEGは必須のアイテムである

小川 滋彦 (金沢市・内科)

各地の医師会、看護協会などの講演会で、経皮内視鏡的胃瘻造設術 (Percutaneous endoscopic gastrostomy、以下PEGと略し「ペグ」と読む) が取り上げられるようになった。お隣の富山県でもすでに2年前に保険医協会の勉強会があり、在宅医療に取り組んでいる先生方の熱いディスカッションに参加してきた。

なぜ、今、PEGがこんなにも注目されているのであろうか?

PEGは、内視鏡を使用して胃に栄養チューブを取り付けてくる、という内視鏡手技であるが、実はこれからの在宅医療を志す開業医にとって、欠くことのできない強力な武器になるものと考えられているからである。

この度、3回にわたってPEGの解説をさせていただくことになった。メディカル・コア発刊「在宅医療のマネージメントと実践ノウハウ」に分担執筆したものが分かりやすいと好評だったので、以下再録させていただくことにする。

Q1. PEGとは、どのような医療処置でしょうか?

自発的に経口摂取できない患者さんの在宅栄養管理の手段として、PEGは今、最も注目されている医療処置のひとつです。従来からの中心静脈栄養法 (TPN) や経鼻胃管法にとって代わる方法と考えられています。その原理は、胃は内視鏡で送気して膨らませてやると最短距離で腹壁からアプローチできることを利用して、胃と腹壁を挟み込むように栄養チューブを装着するというもので、そのアイデアはまさに現代の「コロンブスの卵」といえます。しかも、もともとミルクの飲めない乳児のために考案された方法なので、高齢者にも安全に行えるため、米国では瞬間に普及し、年間16~22万件が施行されているそうです。

本邦でも保険適応が認められており、内視鏡を扱っているドクターなら、ベッドサイドで無麻酔で10分位の所要時間で行うことができます。

Q2. PEGは、なぜ在宅医療に良いのでしょうか?

まず、TPNと比較してみましょう。TPNは本来、消化管が使用できない状態にある患者さんのみが適応であり、嚥下障害だけが問題の患者さんに安易に用いるべきではありません。しかも無菌的に扱う必要があり在宅向きではありません。したがって、在宅栄養管理においては経腸栄養療法が大きな位置を占めるといえます。

次に、今まで経腸栄養療法の投与経路として用いられた経鼻胃管法と比較してみましょう。経鼻胃管法は、鼻から喉を通して胃に管を入れるため、患者さんはつらいですし、鼻の潰瘍や胃食道逆流を来すことがよくありました。そこでチューブを細径化するという方向へ向かわざるを得ず、チューブは詰まりやすく、頻繁に交換が必要、挿入にテクニックが必要、等々、それは結局TPNと同様、病院医療の考え方から脱却できない高度医療であり、素人が扱う在宅管理には程遠いものでした。

それではPEGはどうでしょう。PEGの有用性としては、嚥下性肺炎の頻度が減る、チューブが太いので詰まりにくい、自己抜去が少ない、顔面にチューブがないのでQOL向上に優れるなど、経鼻胃管法の欠点の裏返しをすべて挙げられます。この利点により、一般人でも簡便で、しかも安全に経腸栄養療法が行えるようになったのです。PEGは決して「ハイテク在宅」ではない、在宅栄養管理のゴールド・スタンダードといえるでしょう。

以下、次号!



# 点数早見表(診療所用・病院用)正誤表

医科の点数早見表につきまして、下記の通り誤りがありましたので、訂正させていただきます。

診療所用	病院用	場 所	誤 (下線部)	正 (下線部)			
2頁 下段		■指導管理料(外来包括制)中、「老人慢性疾患外来総合診療料」の備考	外来管理加算、 入院月は左記の点数は算定せず	外来管理加算(同月3回目の受診時のみ算定可)、 自院に入院月は左記の点数は算定せず			
8頁 上		「処置にかかわる注意」の②の③	③ 同一部位に「創傷処置、術後創傷処置、皮膚科軟膏処置、面皰圧出法」(他部位は、合算して主たるもので算定)	③ 同一疾病又はこれに起因する病変に対する「創傷処置、術後創傷処置、皮膚科軟膏処置、湿布処置」は、部位の処置面積を合算し、いずれかの処置で算定。 同一部位に対する「創傷処置、術後創傷処置、皮膚科軟膏処置、面皰圧出法、湿布処置」は、いずれかのみで算定。			
9頁 左上		●創傷処置・皮膚科軟膏処置の欄の左上 ●創傷処置・皮膚科軟膏処置の欄外の※印	包帯等で被覆すべき範囲 ※3つの処置は	包帯等で被覆すべき創面の広さ ※別疾病で別部位に対する3つの処置は			
9頁 左		●ギプス料の「四肢ギプス」の「3.上腕から前腕又は手部」の点数	1280	1200			
10頁 右		② 血液学的検査の表中、上から1つ目と7つ目	抹消血液	末梢血液			
11頁 右		「生化学的検査(II)」の表の下から4つめの「メタネフリン精密測定」の点数	370	390			
13頁 右		眼底カメラのインスタントフィルム	1回14点を限度	1回16点を限度			
15頁 右		「3歳未満の胸部単純」の六ツ切1枚の点数	170	169			
17頁 上		■入院時医学管理料の表中平均在院日数20日以内の3月超～6月の点数	140	150			
28頁		小児特定疾患カウンセリング料の対象となる疾病	喘息……	喘息、登校拒否、自閉症、周期性嘔吐症等の小児心身症及び神経症			
4頁							
8頁 右下		●その他の処置の再下段に追加		<table border="1"> <tr> <td>外来のみ</td> <td>湿布処置 ・半肢の大部又は頭部、頸部、顔面の大部以上 にわたる範囲 ・その他</td> <td>35 24</td> </tr> </table>	外来のみ	湿布処置 ・半肢の大部又は頭部、頸部、顔面の大部以上 にわたる範囲 ・その他	35 24
外来のみ	湿布処置 ・半肢の大部又は頭部、頸部、顔面の大部以上 にわたる範囲 ・その他	35 24					
16頁 上		入院時医学管理料への加算	幼児加算(2歳以上6歳未満) 乳幼児加算(2歳未満)	幼児加算(3歳以上6歳未満) 乳幼児加算(3歳未満)			

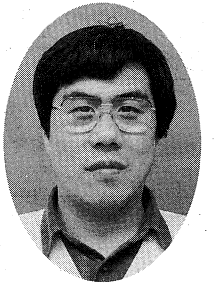
7つのまちがいがし(3面)の答え

- ①虎の檻 ②左上の木 ③中央の二人の組んだ腕 ④鳩 ⑤ワニの口
- ⑥右上の影 ⑦右下の茂み

## 本紙の編集長にさせられました

### あ～気が重い!

大平 政樹 (金沢市・外科)



この手のあいさつ文を書くのは、これで三度目である。最初は部員になった時、二度目は理事に就かせていただいた時、そして今回である。

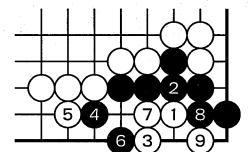
実のところ、小森部長の後を引き継ぐのはとっても気が重い。部会の進行、人の気をそらさぬ巧みな話術、そして何よりも目標に対するひたむきな誠実さ。

まわった後、あわれ愛機は押入の埃となっていた。以後、嫁さんには愛想を尽かされ、その上、その直後にみたら早五年。なかなか小森部長の真似はできませんが、私は私流に肩を張らずにやっていたと思っています。

協会は理事の先生方も事務局長もホントに人をおだてるのが上手で、気づいてみたら早五年。なかなか小森部長の真似はできませんが、私は私流に肩を張らずにやっていたと思っています。

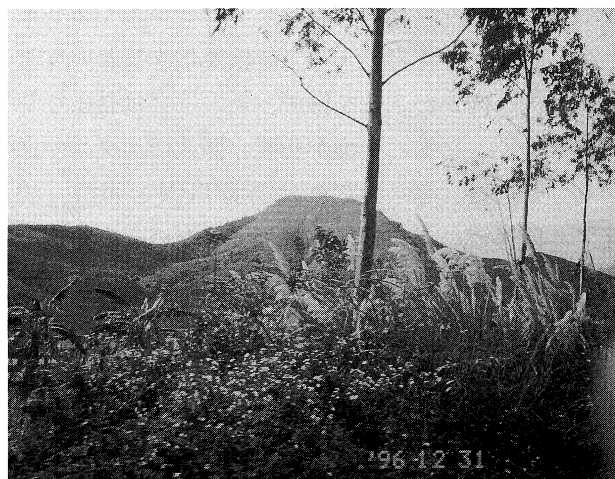
いいます。小森部長、長い間ご苦労様でした。かなりいい加減な新部長になります。新しい部員の参加を心より願っています。(早く後進にバトンタッチしたい)

1、3、9が急所です五目ナカゲになります。



(問題は6面にあります)

囲碁解答



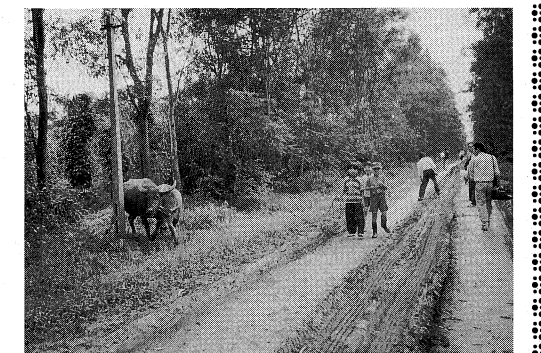
戦後20年以上を経て、今なお残るハゲ山とすすきの一種

## 服部真ドクターのベトナム訪問記 (12回シリーズ)

## ベトナムの光と陰 \*第11話\*

### ダイオキシシンとベトナム、米国、韓国

一九六一年八月十日、J・F・Kの指令を受け、タンソンニユット空港から飛び立つCIAパイロットが操縦する民間機により、ベトナムへの枯れ葉剤散布が始まった。枯れ葉剤散布は十年間、六千五百回以上、九万キロリットルに及んだ。太平洋戦争で、日本に使用する予定で開発・貯蔵されていた枯れ葉剤も使われた。枯れ葉剤には、Agent Orange (2,4-D)のほか、Pink, Whiteなどがあり、主成分の2,4-Dに不純物として含まれていたダイオキシシンが、推定で百六十八・五百五十キログラム散布された。

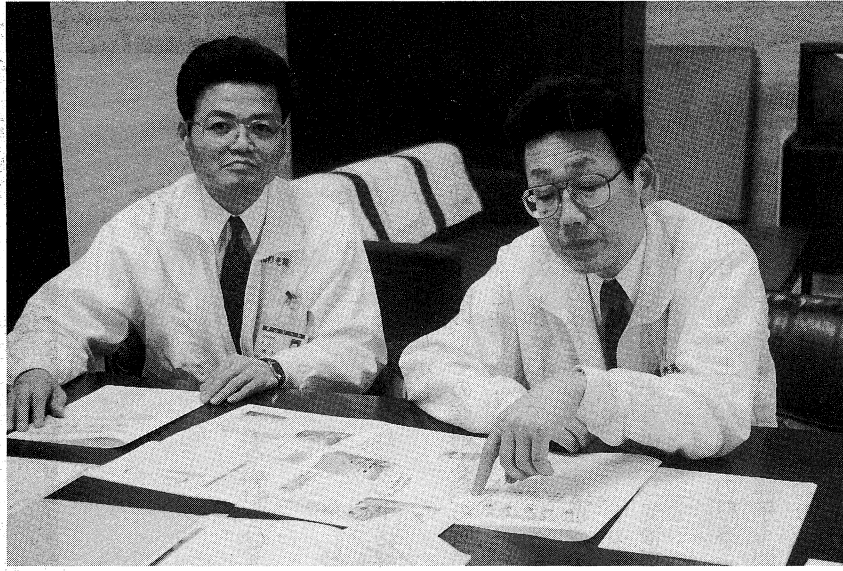


水牛の世話をしてくらすベトナム中部高原の子供達

ベトナムにおける枯れ葉剤の健康被害については、多くの調査があるが、研究

方法や情報の信頼性の問題に加えて、一九八〇年代までは米国政府が枯れ葉剤の健康被害そのものを認めなかったために、国際的には認知されていなかった。一九九三年、全米科学アカデミーは、ベトナム帰還兵に多発した健康被害の一部は枯れ葉剤の影響であると認めた。裁判で、一九六〇年代に化学企業が動物実験で発ガン性と催奇形性を確認していたこと、枯れ葉剤の健康影響を否定した研究のほとんどがデータを改ざんしており、改ざんを訂正すると影響が有意となつたこと、労働災害でもダイオキシシンの健康障害が確認されたことなどが次々と明らかになり、フリントン政権は、肉腫や皮膚障害など九種の健康被害との因果関係を認めた。

同様の問題がベトナムに参戦した韓国兵の中にも起こっていることが公表されたのは金泳三政権時であるが、補償の規模や額は米国に及ばない。



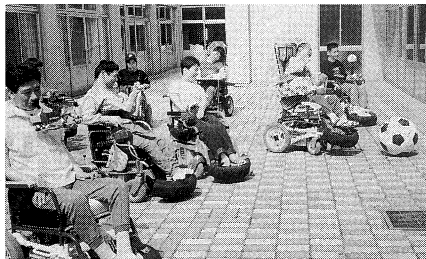
大里輝夫副苑長と西村正悦企画広報課長から詳しく施設の説明をいただいた

また、一九九七年六月には身体障害者手帳を持っている方なら誰でも利用できることのできる身体障害者福祉ホーム(バリアフリーホーム「セレーナ青山」)二十室を開設。併せて、隣接する田鶴浜町に身体障害者通所授産施設

### 施設からの情報発信で地域の理解深めたい

一九九〇年度より各市町村から身体障害者ショートステイ事業を受託。県内各地から幅広く利用者を受け入れるため、一九九三年度には身体障害者療護施設を五十床増設、同時に在宅福祉、地域交流の拠点として地域交流ホームを開設した。そして、一九九四年度

からは身体障害者デイサービス事業を地元七尾市より受託運営し、在宅福祉サービスのさらなる充実を図っている。



電動車イスによるサッカーを楽しむ入所者

ワークセンター田鶴浜)を開設。一九九八年四月から同施設の定員は三十人となる予定である。これにより、青山彩光苑では介護を受けながら生活することのできるライフサポートセンター、自立に向けて生活訓練するリハビ

リテーションセンター、建物内の段差を無くし、車椅子でもゆつたりでき、自立した生活ができるバリアフリーホーム「セレーナ青山」、野菜(主に水耕ネギ)や花を中心に働く場としてのワークセンター田鶴浜と、次々に建設してきた。そして、デイサービスやショートステイなどの在宅福祉に加え、地域交流ホームでの文字通りの地域交流といった身体障害者に對して一貫した福祉サービスを提供できるようになった。苑の方針として、常に利

苑の方針として、常に利便性を追求する姿勢を常に心掛けています。今後、施設の情報を多く発信し、世の中の方々に身体障害者施設の理解を深めてもらえるよう、より一層努力し、職員の資質の向上を図りたい。

(事務局 杉野)

## 障害を持つ人たちの施設

シリーズ17

社会福祉法人 徳充会  
**青山彩光苑**  
〒926-0831 七尾市青山町ろ部22  
☎0767(57)3309

# 自立への一貫サービス 在宅福祉の充実も

青山彩光苑企画広報課長 西村 正悦

青山彩光苑は県内唯一の身体障害者総合福祉施設である。七尾市街地と和倉温泉のほぼ中間に、こんもりとした静かな森の中に立っている。

一九八四年十一月に社会福祉法人徳充会が設立され、翌一九八五年四月に重度身体障害者更生援護施設(現リハビリテーションセンター)を開設、事故や病気などで障害をもたれた方々に対し、機能回復訓練や残された能力を生かす訓練、そして社会復帰に至るまでの生活訓練など、自立への一貫したサービスを行っている。

一九八九年四月には身体障害者療護施設(現ライフサポートセンター)を五十床で開設、日常生活上、常時介護を必要とする障害をもたれた方々に対し、健康の維持・増進を図り、生活の自立や生活圏の拡大を目指すサービスを提供している。

一九九〇年度より各市町村から身体障害者ショートステイ事業を受託。県内各地から幅広く利用者を受け入れるため、一九九三年度には身体障害者療護施設を五十床増設、同時に在宅福祉、地域交流の拠点として地域交流ホームを開設した。そして、一九九四年度

身体に障害をもつ方の生活を支援する  
県内で唯一の総合的“社会福祉施設”です。

青山彩光苑

- 重度身体障害者更生援護施設 リハビリテーションセンター
- 身体障害者療護施設 ライフサポートセンター
- 身体障害者通所授産施設 ワークセンター田鶴浜
- 身体障害者福祉ホーム バリアフリーホーム「セレーナ青山」
- 身体障害者ショートステイ&デイサービス事業

## 青山彩光苑 〔見学〕後記

七尾市内から山手に車で十分程度走ると、森に囲まれた小高い丘の上の建物に、淡く落ち着いたピンクに近い色調の建物が建っています。敷地内に入り口にある「青山彩光苑」と銘記された立て石の看板を見落とせば、だれもがリゾートホテルに迷い込んだと思うに違いありません。そんな印象の明るくきれいな施設です。原稿執筆と取材を快く引き受けてくださった副園長の大里輝夫さん、企画広報課長の西村正悦さんに案内され、ご多忙にもかかわらず応接室にて一時間あまりお話を伺いました。最初に、この身体障害者の総合施設がつけられるいきさつをお話しいただきました。今から二十年ほど前、恵寿総合病院の神野理事長(現会長)が、事故や病気などで障害を持たれた患者さんが退院した

抱負をお聞きすると、職員全員が知識を深めて、一人ひとりが施設内であらゆるケアができるように心がけている、ということでした。全国的には、国際障害者年を契機に、障害を持つ人たちが外に出やすくは、まだまだ「自分のことは自分で」という意識の中で、自然、家の中に閉じこもるという「障害を一つの個性とみる社会づくり・啓蒙が重要です」と力説されるお二人に、このシリーズの取材でいつも感じる感動をいただき、青山彩光苑を後にしました。

施設の見学を勧めたいのでしたが、次の仕事に追っていたので残念でした。この次は、高級マンションを思わせるバリアフリーホーム「セレーナ青山」なども、ぜひ、見学させていただけますかと思っております。

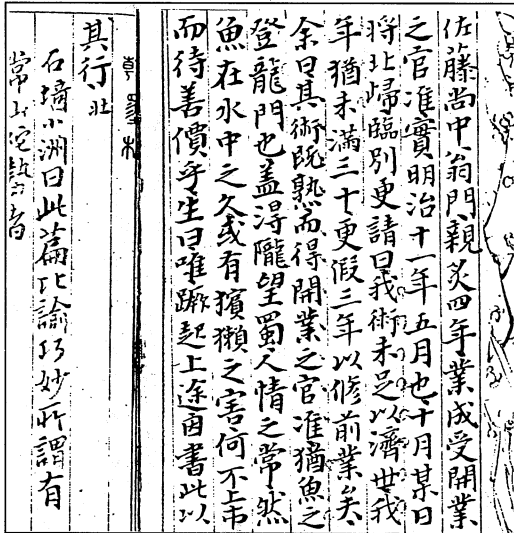


# 石川県医事文化史跡めぐり

<35>

## 金沢三筆の一人 江間三吉の筆跡

多留淳文 (日本医事学会評議員科  
金沢市・内科)



江間三吉筆「虚白堂文稿」二丁目

金沢三筆の一人、書のノ内とある。二百石は高を要する。金沢市立玉川図書館に、江間三吉自筆の「先祖由緒一類附帳」(一八七〇)が残っている。ここでは「虚白堂文稿」の一頁、佐藤尚中(一八二七〜一八八二)に関する記事を示した。佐藤尚中は、順天堂(現順天堂大学)の創始者(第二代堂主)で、前田慶寧の診療に招かれた。

江間三吉(三折・真・萬里)の墓は、金沢市石引二の四の六、棟岳寺墓地にある。

【注】金沢の三筆とは、江間三吉、佐藤尚中、山納賢吉。(和田文次郎「金沢叢話」一九二五)

### サイコロジカル・ショート・ショート

マインドコントロール編(その34)

## 花見

大石ひろし

「花のうたげの…」  
このことを聞いたとき、玲子は頭の中に桜の花びらがひらひらと舞う感じがした。  
彼女の勤める病院の、その産婦人科の医局にも、毎年四月には次々と新しいインターン(卒後研修医)がやってきた。それにしても今年はへんな奴がきたものだ。早々の桜花見の宴会で手品をやるという。そして、その口上のキザなこと。しかし、なんとなくテレビのない昭和三十五年としては新鮮に聞こえた。  
香林坊の明治ビルの屋上に、会場の料亭「魚半」はあった。和風木造の座敷は広く、障子を開けると片町のネオン街が見えた。宴会が終わる、下りのエレベーターの前のテラスには、人留まりができた。

【百貨店にて】  
店員「奥様、そのお洋服にはネックレスがお似合いですね。パールにいたしますか? ゴールドにしましょうか?」  
客「それじゃ、パールの物をいたたくわ」  
(買うか買わないかという問題が飛び越されていく)

【医療費改定】  
厚生省「マルメにしますか? 切り下げられても出来高払いにしますか?」  
医師会「個々の医療機関の都合にまかせろ」  
(医師会が医療費値下げに反対するという行為が省略されている)

## アットホームな雰囲気 一足早く春を感じて

### かぶらや

金沢市泉野町5丁目1の20  
☎076(245)0021

木下 光代(金沢市)

春の食べ歩き会は、松本吉典先生のご推薦により、三月十日の夜七時半から、金沢市泉野五丁目にありま「かぶらや」で開かれました。

参加者は高松先生ご夫妻、小森先生ご夫妻、村田先生ご夫妻、栗野先生、北山先生、大平先生とお母様、松本先生、木下夫婦の十三人でした。



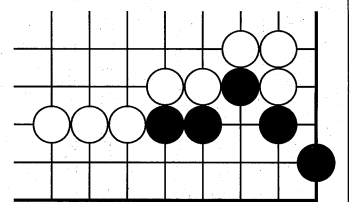
13人の会員・ご家族が参加して開かれた春の食べ歩き会

料理長の松村さんは和食の料理人ですが、今回はフランス料理と和食をドッキングさせた特別メニューを頂きました。

料理長の松村さんは和食の料理人ですが、今回はフランス料理と和食をドッキングさせた特別メニューを頂きました。

## 碁

■出題者  
七段 向井富治 (金沢市・内科)  
高林師範の指導碁会から白番です。



(解答は4面にあります)

物「白子と椎茸のブランドー焼き・ポン酢ソース」は、料理長の初の試みの一品でした。ブランドー風味で味う白子と椎茸のブランドーは絶妙でした。煮物「豚と白菜の博多煮・フカヒレあんかけ」は、長時間煮込んであるため、白菜に豚肉のうまみが染み込んでいてとてもおいしかったです。

次々と運ばれてくる料理の器も変化に富んでいました。マスターお勧めのワインもとてもおいしくて、中皿二種「牛舌の塩焼」「アワビのバター焼・ワタソース」が出てくるころには、リラックスマードも最高潮に達しました。おいしいお料理と、楽しいおしゃべりの心地よいハイモニーが、アットホームな雰囲気をかもしだして、一足早く暖かい春をプレゼントしてくれたような気がしました。それに、とってもすてきなお話も伺えましたし…。

今回お世話くださいました松本先生、小森先生、本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。